

# 生き活きだより



2026年 新春ご挨拶

退職者連絡会 会長 梅村佐斗示

組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

平素は、当組合の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新しい年を迎え、組合員並びにご家族のみなさまが健康で幸せな日々を送ることを心より願っております。昨年、平成7年12月27日に東海旅客鉄道労働組合退職者連絡会の結成大会が開催され、30年という記念の年、アニバーサリー・イヤーでありました。退職者連絡会を立ち上げ礎を作っていただいた諸先輩方、30年もの長きにわたり活動を受け継ぎ引き継いでこられた全ての組合員のみなさま、この場を借りて、日々の業務に邁進されながらも、組合活動にご尽力いただきましたことに敬意を表します。そして、ご家族のみなさまの温かいご支援に、改めて深く感謝申し上げます。2025年9月11日OB会本部から始まった定期総会は、組合員一人ひとりの団結を振り返った活動報告、これからの活動の方向を示した活動方針、役員改選を行いました。その後、各地区での定期総会が開催され、多くの組合員の参加がありました。

＝今後の課題＝

国鉄採用者の60歳退職者がいなくなり、JR採用者の定年年齢が65歳に延長されることに伴い、OB会への新規加入者がほぼ存在しない時代を迎えました。この現状を正確に把握し、これからのOB会を如何にして継続し、さらなる発展をするかを「人」＝組合員、「物」＝組合活動、「金」＝組合費の観点から、JR東海ユニオン本部やJR連合との連携を密にして、正しい方向に進めていかなければなりません。

＝2026年の決意＝

私たち執行部は、みなさまの声に真摯に耳を傾け、一つひとつの課題解決に全力で取り組んでまいります。みなさまとの力強い連携のもと、今年も組合運動を力強く推進していく決意です。

結びに、本年が組合員並びにご家族のみなさまにとって、幸多き一年となりますよう重ねてお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 2026年新春ご挨拶

中央執行委員長 鎌田 隆司

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

J R東海ユニオン退職者連絡会の皆様には、旧年中も温かいご指導を頂き、学び多き一年となりました。皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのことと存じます。

さて、昨年を振り返りますと日本列島は世界に類を見ない猛暑、酷暑に見舞われ記録的な豪雨や河川の氾濫による住宅の浸水や道路の冠水、広域停電や交通網が麻痺し、インフラが一時的に機能不全に陥るなど、日本経済にも大きな影響を及ぼしました。とりわけ、静岡県牧之原市で発生した竜巻被害から4ヵ月が経過していますが、今なお大きな爪痕を残しています。被災された方々に、お見舞いを申し上げますとともに1日も早い復旧と平穏な生活への回復を心より願うばかりです。また、去年は国鉄が歩んできた期間（1949年～「37年と306日」）をJ Rが誕生（1987年4月1日）し、この間、J Rとして歩んできた期間が上回るという節目の年でもありました。諸先輩方におかれましては、激動の国鉄改革をはじめ、幾多の困難に立ち向かい「組合員とその家族の幸せ実現」を標榜し、先人の並々ならぬ情熱と実行力で築き上げられたJ R東海ユニオンも結成から33年目を迎えます。私たちJ R東海ユニオンは現在「組織の変化を強化に繋げる」をスローガンに取り組みを進めています。私たち自身の変化することを恐れず柔軟な発想で新たな動きを創り出し、時代のうねりを捉えた労働運動へとブラッシュアップをして行かなければならないとも考えています。他方で、時が経ち、新たな時代を迎え、世代交代が進もうとも労働組合の使命は不変です。我々、J R東海ユニオンの役割、為すべきことを成すという本質は何ら変わるものではないと思っています。我々は決して現状に甘んじることなく先人が育んできたこの組織を、今度は私たち自身でさらに飛躍をさせる。執行部一同、労働組合主義に則った取り組みを、労働組合らしく堂々と、積極果敢に取り組みで参存じます。

結びとなりますが、2026年は前に進む象徴でもある「午（うま）年」でもあります。私たちも、J R東海ユニオン退職者連絡会の皆様と共に情熱と実行力をもって、この1年を駆け抜けて参ります。本年もどうぞ宜しく願いいたします。



## 2026年新春ご挨拶

中央執行副委員長 半田 健介

新春のお慶びを申し上げます。新しい年を迎え、皆様にとって幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年は様々な「節目」の年であったと思います。昭和100年、戦後80年ということで当時に振り返る式典や報道がなされました。そして交通運輸産業で働く私たちにとっても、過去の教訓を振り返る大切な年でありました。福知山列車事故から20年、地下鉄サリン事件から30年、日航ジャンボ機墜落事故から40年。私たちはこうした過去の苦い経験を教訓とし、先輩たちから引き継いだ想いを胸に今年も地道に頑張っている所存です。そして迎えた新しい年も引き続き、JR東海ユニオンとJR東海ユニオン退職者連絡会は、共に成長し、支え合える関係を構築すべく変わらぬご指導を何卒よろしくお願いいたします。

さて政治情勢に目を移しますと、政局は先行きが見通せないまさに混迷の時代に突入しているといっても過言ではありません。自民党が衆参両院で過半数を割り、少数多党化の流れになっています。こうした状況を数年前に誰が予想していたのでしょうか。椅子取りゲームをしている場合ではありません。庶民は物価高に苦しみ、実質賃金は連続してマイナスを示しています。こんな時だからこそ、社会的使命と庶民目線を持つ労働組合の力が重要だと思っています。労働組合が提言を行い、信頼関係にある議員と連携して政策実現を図ることこそ庶民目線の政治が進むと思っています。

新しい年を迎えるにあたり改めてではありますが、OB会先輩諸氏を含めた関係するすべての人々との関係を大切に、感謝の気持ちを忘れずに過ごして参る所存です。皆様とともに素晴らしい思い出を作り、共有できることを楽しみにしております。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。どうぞ素晴らしい一年をお過ごしください。

各地区本部会長より新春号ご挨拶

【関東地区本部】



役職	氏名	年齢	出身地区
会長	野村佳邦	70	千葉県
副会長	長谷川伸二	70	神奈川県
事務長	田村一雄	76	神奈川県

野村佳邦 (70)

会員・ご家族の皆様、健やかに新春をお迎えしたこととお慶び申し上げます。

昨年はお米の高値に始まり、物価高騰・円安により高齢者の生活は厳しい年となりました。インフルエンザも、例年より早く感染が拡大しております。特に幼児・高齢者には重症化リスクが高い状況推移していくようです。そうした中の年末の27日に、地方本部の門松作りに参加をして、2026年は「健康で明るく楽しい良い年」になることを祈念しました。

会員の皆様も家に籠らず積極的に行動して、健康寿命が伸びる生活をしましょう。

【静岡地区本部】



役職	氏名	年齢	出身地区
会長	山下隆三	67	焼津市
副会長	高林憲年	78	浜松市
副会長	藤澤和則	68	三島市
事務長	山内勝喜	74	静岡市
事務次長	松本英	66	島田市

山下隆三 (67)

新年明けましておめでとうございます。会員・ご家族の皆様におかれましては良き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

J R 東海ユニオン退職者連絡会は結成30周年を迎え節目の年となりました。

結成当初の基本理念「仲間づくり」「助け合い・支え合い」の運動を愚直に進め「生き活きだより」を発行し、会員の皆様へ情報提供の役割を担って来ました。

今年も静岡地区は、OB会会員の皆様が参加しやすい「みかん狩り」「ねぎ祭り・バーベキュー大会」等のイベントを計画し、会員の交流・親睦の場を多く設け活動していきます。

また、高齢者の切実な問題である「年金・医療・介護等の社会保障制度の改善」及び「物価上昇対策」等の社会的諸問題の解決に向けて、J R 連合・J R 東海ユニオンと連携を取り「政治的解決」に向けて取り組んでいきます。

高齢者が安心して暮らせる社会づくりを、会員皆様と一緒に努めて行きたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願い致します。

【名古屋地区本部】



役職	氏名	年齢	出身地区
会長	日比野一哉	64	美濃太田運輸区
副会長	猿渡桂一	67	神領運輸区
事務局長	森島 靖	70	名古屋保線区

日比野一哉(64)

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

今年も皆様のご協力を得て活動していきたいと思います。

名古屋地区本部の役員を紹介いたします。

他に幹事の皆さんで名古屋地区本部の活動に取り組んでいます。

今年も交流会を計画しています。皆様で楽しい一時を過ごしましょう。

【飯田地区本部】



役職	氏名	年齢	出身地区
会長	佐々木時男	73	伊那松島運輸区
副会長	梶川建一	70	飯田支店
副会長	丹内春美	66	伊那市駅
事務長	小坂邦雄	69	伊那松島運輸区

佐々木時男(73)

新年あけましておめでとうございます。会員、ご家族の皆様におかれましては、普段の生活を脅かす様な物価高騰、国内外の過酷な情勢にも拘わらず、健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。第16回定期総会で、2期目の会長を仰せつかりました、佐々木時男です。第二の人生を大いに謳歌できる様に、飯田地区本部内の鉄道に働く現役の皆様や、諸先輩の皆様と交流を通じ、親交を深めながら、会員、ご家族様のためにも、常に笑顔を忘れない退職者連絡会を目指す所存です。最後に、会員、ご家族様にとって本年が幸多き年であります様に、心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

【三重地区本部】



役職	氏名	年齢	出身地区
会長	山口利夫	75	名古屋駅
副会長	東 義則	68	伊勢運輸区
事務長	渡辺健二	78	伊勢運輸区

山口利夫(75)

新年あけましておめでとうございます。

会員、ご家族の皆様方の御多幸をお祈りいたします。

三重地区〇会は昨年9月「津のアストビル」で「第16回定期総会」を開催し三重地区本部役員の10名中5名が60歳代の若手に世代交代してフレッシュしていきます。今後も三重地区本部活性化のため、役員一同会員の皆様とともに行事等を通じて活動を進めてまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

【関西地区本部】



役職	氏名	年齢	出身地区
会長	新田豊幸	76	大阪運輸所
副会長	森田政和	66	運輸所
副会長	栗田 寿	70	施設課
事務長	牟田昌俊	63	京都駅

新田豊幸(76)

新年あけましておめでとうございます。会員・御家族の皆様にあかれましてはつつがなく新年を迎えられた事をお慶び申し上げます。 昨年の定期総会にて二期目を仰せつかりました会長の新田です。今年もよろしくお願ひします。

今年も関西地区の運動方針であります「一人ひとりが生き生きと暮らし、明るい生活を送ること」を合言葉に、ハイキング&バーベキューを開催します。今年から正式にご家族の皆様への声掛けを行い、趣向を凝らしたイベントにし、昨年（53名）以上の参加を目指したいと考えています。

関西地区本部はこれからも会員の皆様とコミュニケーションの充実を図り、OB会を進めていきたいと思っています。



令和8年1月新春発行



JR 東海ユニオン 退職者連絡会 副会長 上田好文

# 「生き活き」と活動しましょう。

- ・あけましておめでとうございます。新春と言えば「御来光」。御来光と言えば「富士山」。  
新春号は、静岡県内の地方鉄道をご紹介します。地方鉄道で行ける観光名所もたくさんありますので、一人旅、御家族旅行（お孫さん）でお出かけになってはいかがでしょうか。
- ・静岡県は「地方鉄道の宝庫」とも呼ばれており、静岡鉄道、大井川鉄道、遠州鉄道、伊豆箱根鉄道は特に皆さんがよくご存じだと思います。
- ・今回ご紹介するのは、東海道線「吉原」駅接続の「岳南（ガクナン）鉄道」です。営業路線は長くありません。しかも富士山市内を走ってます。
- 特徴は、硬券が未だに使用されており、一部鉄道ファンの中では貴重に扱われています。
- 「夜景電車」という工場の夜景の中を走行するイベント列車があります。
- ※鉄道事業に精通した私たちです。地方鉄道も大切にしていきたいと思えます。



お  
得  
な  
乗  
車  
券

click

- 全線1日フリー乗車券
- 春・夏・冬休み子供1日フリーパス



# 耳よいな情報

JR東海ユニオンOB会  
事務長 池上 嘉之

yahoo ニュース(11月)

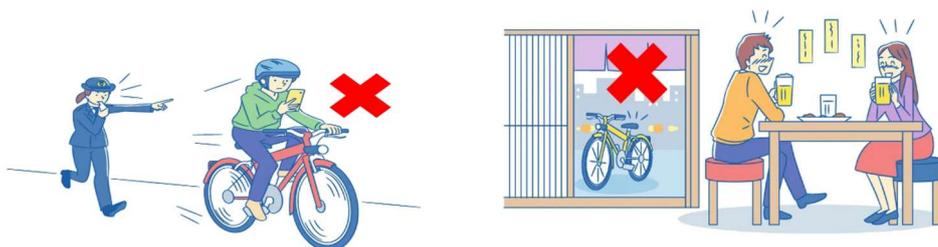
## 2026年4月より道路交通法改正！！

**自転車で歩道を走ると6000円の反則金を取られる可能性も！？**  
**スマホの「ながら運転」だと12000円も取られるって本当！？**

交通ルールの遵守を図るために、2026年4月から「道路交通法の一部を改正する法律」が施行されることになりました。これにより、自転車にも「青切符制度」が導入され、交通違反してしまうと反則金が発生します。なお、制度の対象年齢は16歳以上です。

- 1. 自転車の交通ルール** 自転車は「軽車両」という自動車と同じ「車両」の区分であるため、原則として車道を左側通行しなければなりません。歩道を走ったり、右側通行（逆走）したりした場合、反則金6000円の対象となります。ただし、道路標識・道路標示（自転車専用レーン）で歩道を通行することができる場合などは歩道を通行できます。
- 2. ながら運転の禁止** 自転車を運転する際、携帯電話・スマートフォンなどを使って通話したり、手に保持して画面を注視したりすると、携帯電話使用等（保持）という反則行為に該当して、反則金12000円が科せられる可能性があります。これは、自転車の反則金の中で最も高額な金額です。
- 3. 自転車の酒気帯び運転やほう助に対する罰則も**

上記のほか、飲酒運転やあおり運転といった危険な運転は、反則行為ではなく刑事手続きの対象となります。特に、飲酒運転に関しては「自転車運転者に飲酒をすすめる」「飲酒をした人に自転車を提供する」「飲酒をした人に要求・依頼して自転車に同乗する」といった行為も処罰の対象となるため注意しましょう。



# 「廣幡神社の秋季大祭の紹介」

令和8年1月1日 発信

三重地区本部 会長 山口 利夫

菰野町には12の神社があり一番繁栄している「廣幡神社」をご紹介します。

廣幡神社は寛永七年（1630）年に菰野藩初代藩主土方雄氏公によって創建され京都の石清水八幡宮から神様を分けて戴きました。

☆秋祭り（菰野町）は毎年10月の第一（金）（土）（日）と三日間開催します。



☆秋祭りは登り旗を揚げ、神輿を整備し「横山宮司さん」がお祓いをして副町長と氏子総代長の大塚秀樹さん（元菰野中学の校長先生）が祭り成功に向け挨拶をしました。

☆初日は地域の宝つなぐ【神輿渡御】で廣幡神社を16時30分に花火の合図で出発し近くの【庄部お旅所】まで3キロの道のりを行進しました。



☆行進は国道306号線を渡るため「安全・安心対策」として警察官が一時道路を通行止めし横山宮司さんから氏子、町長、県町会議員、区長、区役員、楽人、婦人会、子供等など300人が一帯を練り歩き18時の庄部のお旅所に（1時間30分かけて）到着しました。

☆二日目は【中日祭】で横山宮司さんのお祓いとか【楽人】さん8人が演奏しました。



☆廣幡神社前の桜や楓は、【八重姫が】植樹したと伝えられています。

□最後に三重地区会長として3日間の秋祭りを応援し無事【神輿】が廣幡神社に返納されたことは「すべての方の御協力の賜物で」宮司・氏子総代長共々有難うございました。